

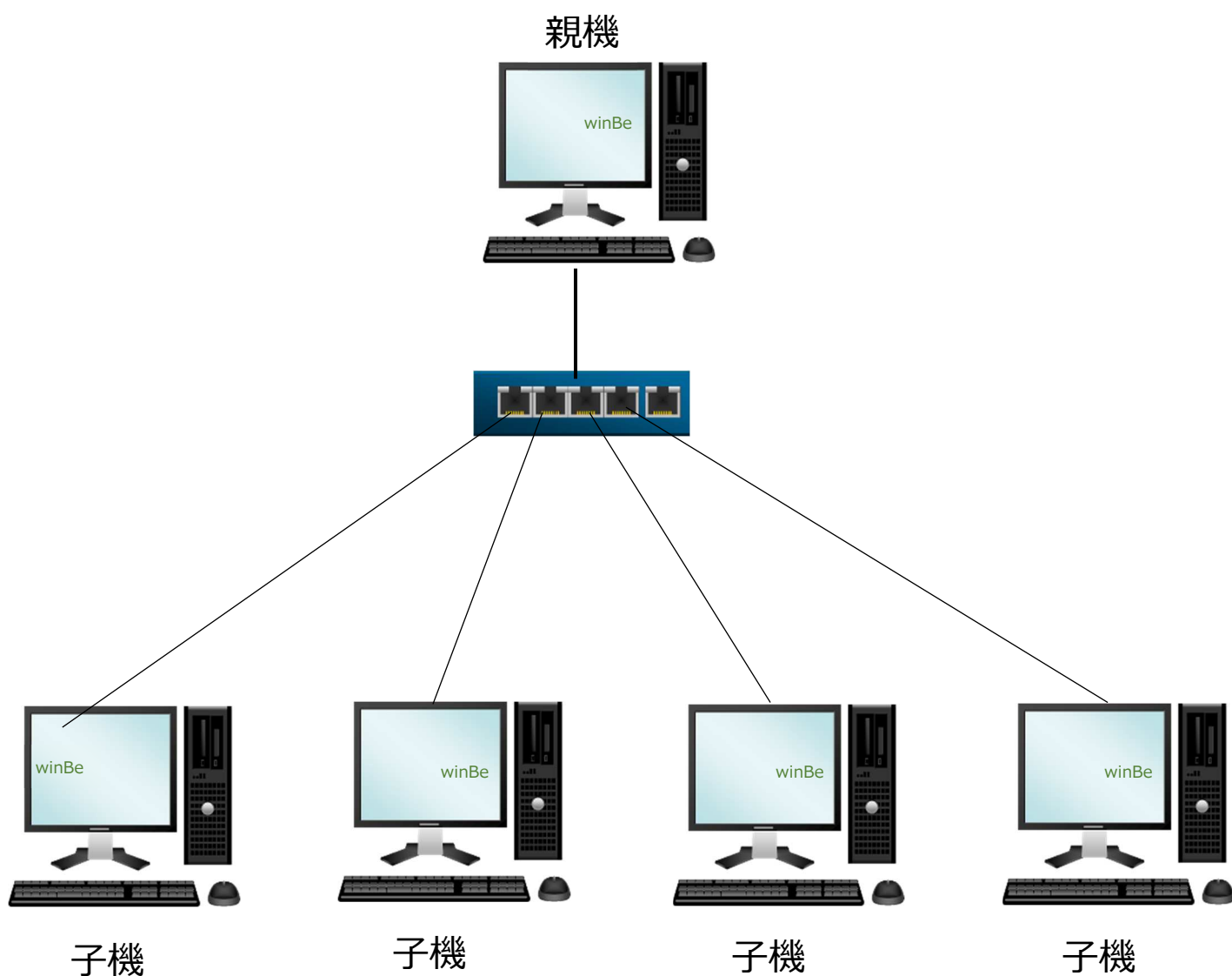
winBe ネットワーク設定マニュアル

1.1. winBe を複数台のパソコンで使用

winBe は、複数台のパソコンで使用することができます。

データベースをパソコン(親機)に置き、親機とネットワークで繋がっているパソコン(子機)からデータ編集を行います。

※ 現在ネットワーク機能が利用できる製品は、「winBe 労働者管理」「winBe 工事請求」「winBe 工事支払」になります。



※使用するすべてのパソコンへ winBe のインストールが必要です。

1.2. 親機の設定

1.2.1. winBe での設定

[ネットワーク設定]をクリックするとネットワーク設定画面が開きます。

- (1) 親機設定を選択し、[保存]ボタンを押下します。



1.2.2. ファイアウォールの例外設定

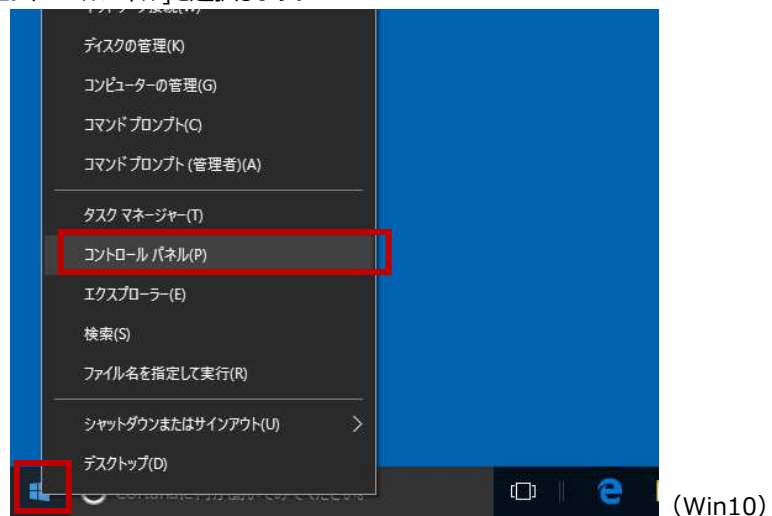
▼1.2.2. 及び 1.2.3. は Windows でのコントロールパネル、他の設定

(1) コントロールパネルを起動します。

(Win10) デスクトップ左下の Windows マークの上で右クリックし、[コントロールパネル]を選択します。

(Win8) デスクトップ画面でカーソルを右上端に移動し、[設定]を選択します。

(Win7) スタートより[コントロールパネル]を選択します。



(2) [システムとセキュリティ]を押下します。

🏠 コントロール パネル

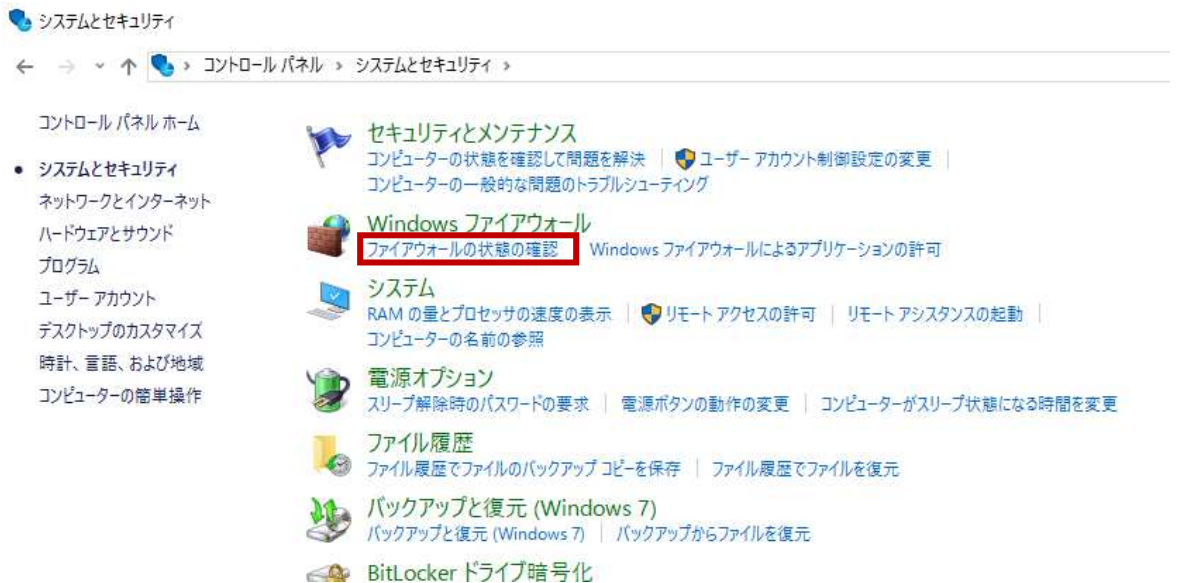
← → ~ ↑ 🏠 > コントロール パネル >

コンピューターの設定を調整します

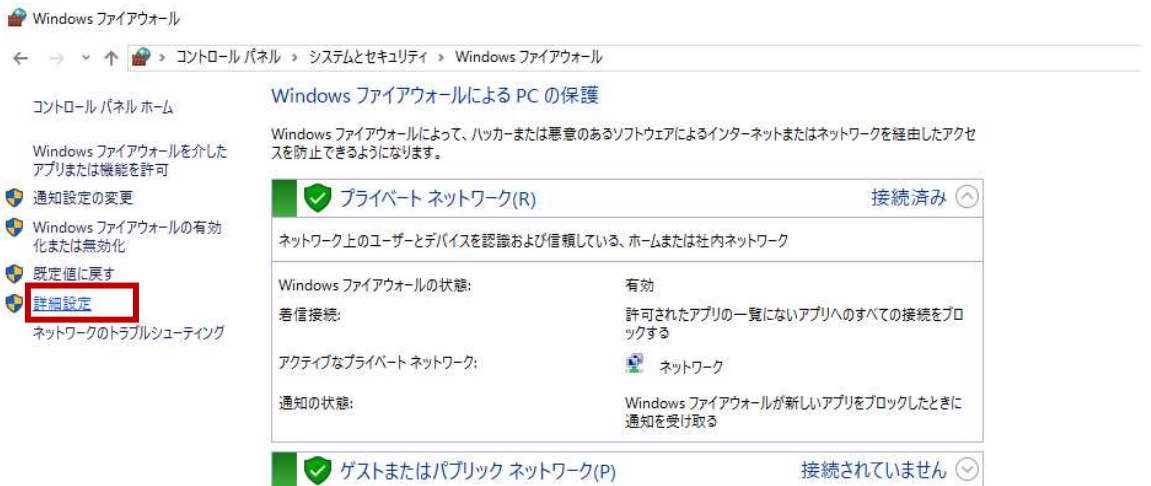
表示方法: カテゴリ



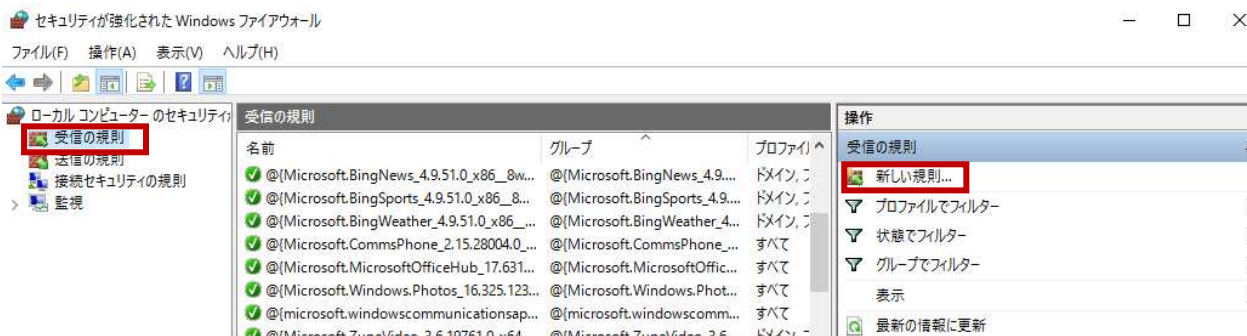
(3) [Windows ファイアウォールの状態の確認]を押下します。



(4) [詳細設定]を押下します。



(5) [受信の規則]を選択し[新しい規則...]を押下します。



(6) [ポート]を選択し[次へ]ボタンを押下します。

新規の受信の規則ウィザード

×

規則の種類

作成するファイアウォールの規則の種類を選択してください。

ステップ:

- 規則の種類
- **プロトコルおよびポート**
- 操作
- プロファイル
- 名前

どの種類の規則を作成しますか?

- プログラム(P)**
プログラムの接続を制御する規則です。
- ポート(O)**
TCP または UDP ポートの接続を制御する規則です。
- 事前定義(E):**
AllJoyn ルーター
Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。
- カスタム(C)**
カスタムの規則です。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

(7) [TCP]を選択。[特定のローカルポート]を選択し“3050”と入力後、[次へ]ボタンを押下します。

新規の受信の規則ウィザード

×

プロトコルおよびポート

この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- **プロトコルおよびポート**
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

- TCP(T)**
- UDP(U)**

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

- すべてのローカル ポート(A)**
- 特定のローカル ポート(S):**

3050

例: 80、443、5000-5010

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

(8) [接続を許可する]を選択し[次へ]ボタンを押下します。

新規の受信の規則ウィザード

×

操作

規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

接続を許可する(A)

IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)

IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(Z)...

接続をブロックする(K)

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

(9) [ドメイン][プライベート][パブリック]にチェック(✓)をし[次へ]ボタンを押下します。

新規の受信の規則ウィザード

×

プロファイル

この規則が適用されるプロファイルを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

ドメイン(D)

コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

プライベート(P)

コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

パブリック(U)

コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

(10) 名前欄に“(winBe の製品名を入力)”と入力し[完了]ボタンを押下します。

新規の受信の規則ウィザード

名前
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N):
winBe工事

説明 (オプション)(D):

< 戻る(B) **完了(F)** キャンセル

1.2.3. 電源管理等の設定

Windows がスリープ状態、スタンバイ状態にならないように必要に応じて電源の設定をおこなって下さい。

※ご購入のパソコンにより Windows の電源管理(コントロールパネル)以外にも電源制御がされているものがございます。

注意！

親機に電源が入っていない場合、またはスリープ状態、スタンバイ状態になった場合、子機側からのデータベースへのアクセスが切断されてしまいます。親機を再起動した場合も子機側からのデータベースへのアクセスが切断されます。

切断された場合、子機側は winBe を再起動し接続し直して下さい。

1.3. 子機の設定

1.3.1. winBe での設定

[ネットワーク設定]をクリックするとネットワーク設定画面が開きます。

- (1) 子機設定を選択します。
- (2) 「親機のフルコンピュータ名」を入力、「親機のシステム種類」を選択、[保存]を押下
※親機のフルコンピュータ名に半角英数字以外は接続できません。
- (3) [親機への接続確認]を押下し、親機のデータベースにアクセスできたかどうかの確認をおこないます。
- (4) 最後に必ず[保存]ボタンを押下します。



1.3.2. 子機から親機への接続確認ができない場合

親機が下記の状態の場合はアクセスできません。

- ・親機(接続先)のパソコンでファイアウォールの例外設定がされていない
- ・親機(接続先)のパソコンの電源が OFF になっている。
- ・親機(接続先)のパソコンがスリープ状態となっている※電源管理でデータベースからログオフなどの設定がされている場合も同様です。
- ・親機(接続先)のフルコンピュータ名に半角英数字以外が含まれている。
- ・親機(接続先)のシステムの種類(32bit・64bit)を間違えている。
- ・親機(接続先)の winBe 工事_請求/ネットワーク設定で“子機”が選択されている。

1.3.3. 使用中にデータベース接続エラーが出た場合

親機が下記の状態になっていると考えられます。

- ・親機が再起動を実行した。
- ・親機の Windows がスリープ状態、スタンバイ状態、データベースログオフ状態になっている。

▼対処

データベースから遮断された子機側ではデータベース接続エラーメッセージが出ます。

（親機に電源がついている状態で）子機は winBe を再起動して下さい。